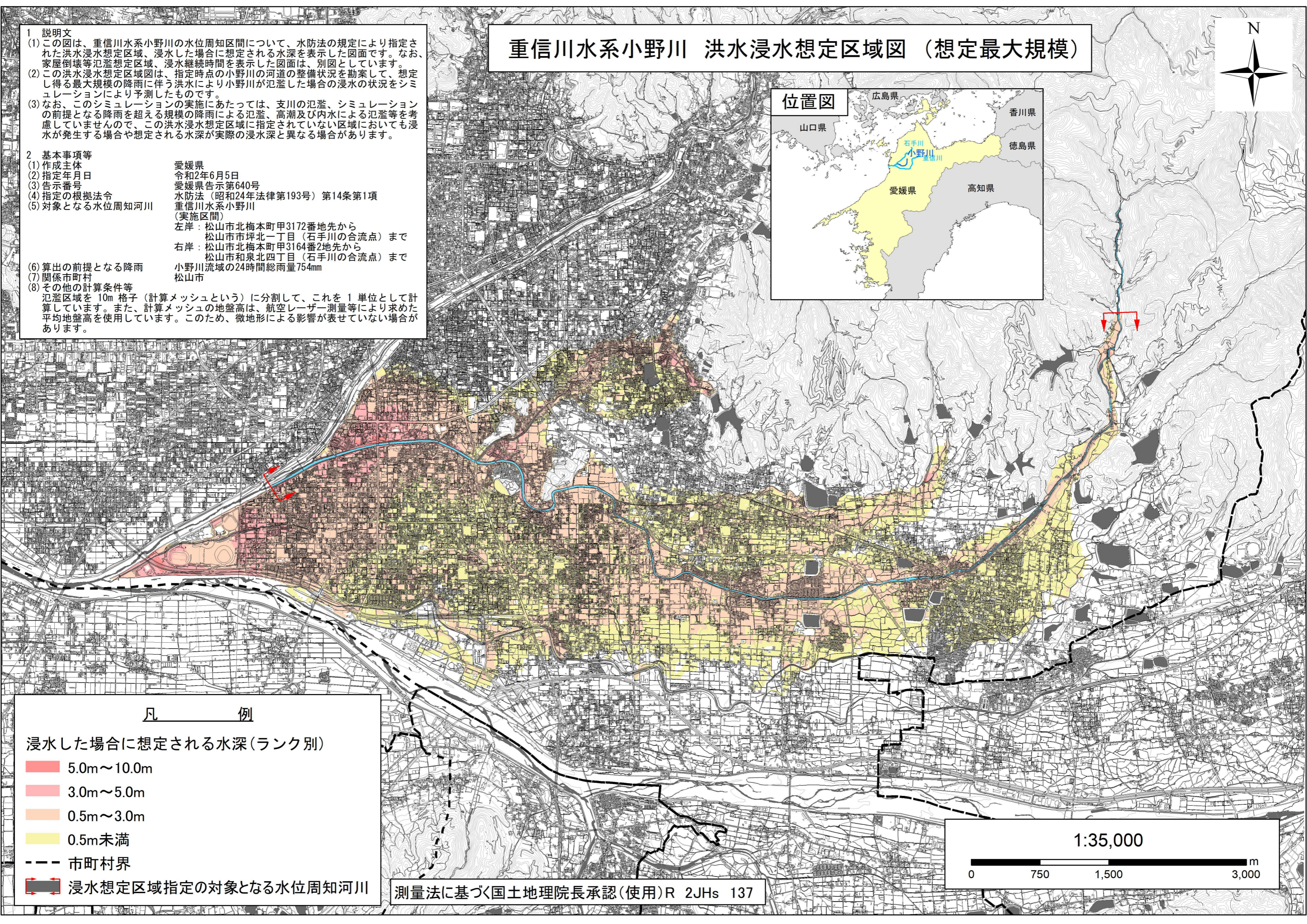


# 重信川水系小野川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



- 1 説明文
- (1) この図は、重信川水系小野川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水継続時間を表示した図面は、別図としています。
  - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の小野川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 愛媛県
  - (2) 指定年月日 令和2年6月5日
  - (3) 告示番号 愛媛県告示第640号
  - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
  - (5) 対象となる水位周知河川 重信川水系小野川（実施区間）  
左岸：松山市北梅本町甲3172番地先から松山市市坪北一丁目（石手川の合流点）まで  
右岸：松山市北梅本町甲3164番2地先から松山市和泉北四丁目（石手川の合流点）まで
  - (6) 算出の前提となる降雨 小野川流域の24時間総雨量754mm
  - (7) 関係市町村 松山市
  - (8) その他の計算条件等 氾濫区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。



## 凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m～10.0m
- 3.0m～5.0m
- 0.5m～3.0m
- 0.5m未満

--- 市町村界

浸水想定区域指定の対象となる水位周知河川

